I-O DATA

PCカード規格準拠 V.90/K56flex採用
56Kbpsインターネット・モデムPCカード

PCML-560EM

はじめにお読みください

147410-02

このたびは、「PCML-560EM」(以下、「本製品」と表記します。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

オンラインマニュアルの参照方法

本製品の詳しいお取り扱い方法は、オンラインマニュアルに記載されています。

●オンラインマニュアルの参照方法(Windows)

①添付のサポートソフト(CD-ROM)をパソコンに挿入します。
②メニューが表示されます。
※自動でメニューが表示されないときは、サポートソフト内の[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。
③[オンラインマニュアル]をクリックします。



●オンラインマニュアルの参照方法(Macintosh)

①添付のサポートソフト(CD-ROM)をパソコンに挿入します。
②サポートソフト内の[Manual]フォルダ→[index.html]をダブルクリックします。

※オンラインマニュアルの参照はInternet Explorer 5以降、Netscape 4.7以降のものをご利用ください。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 <例>「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 <例>「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 <例>「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

- 本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
- 本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
  火災や感電、やけど、故障の原因となります。
  修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。
- 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
  そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
  ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 本製品を濡らさないでください。
  お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品のモジュラージャックには、指を入れないでください。
  感電の恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
  故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。
- 本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。
  故障の原因となることがあります。
  ●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
  ●湿気やホコリが多い場所　●温度・湿度差の激しい場所
  ●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒーターなど)
  ●強い磁力電波の発生する物の近く
  (磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
  ●水気の多い場所(台所、浴室など)　●傾いた場所
  ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用
  (保管は通風孔をふさぐようにしてください。)
  ●腐食性ガス雰囲気中(Cl2、H2S、NH3、SO2、NOxなど)
  ●静電気の影響の強い場所
  ●保湿性・保湿性の高い(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所での使用(保管は構いません。)
- 本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
  ●落としたり、衝撃を加えない
  ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
  ●重いものを上にのせない
  ●そばで飲食・喫煙などをしない
  ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない
- 本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。
  静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。
- 落雷の恐れがある場合は、本製品のご使用を中止し、モジュラーケーブルを電話回線から切り離してください。

使用上の注意事項

- 本製品はNTTの一般公衆回線に適合した電話回線用に設計されています。ボタン電話、ビジネスホン、キーテレホン、ホームテレホン、家庭用キーテレホン、PBX(構内交換機)に接続する場合はNTTの電話回線と電気的条件が異なる可能性があります。本製品をこれらの回線に直接接続すると故障の原因となります。接続する前に電話設置メーカーなどにご確認ください。
- 本製品とキャッチホンサービスの併用はお避けください。NTTのキャッチホンサービスをご利用の場合、キャッチホンの呼び出し音によってデータの正常な通信に支障をきたすことがあります。
- 回線状況やNTTの交換機、宅内配線などにより、設定した回線速度[特に50000bps以上の場合]より低い速度で接続する場合があります。また、接続されても回線状況により、リトライが繰り返され、設定回線速度ほどの実効速度が得られない場合があります。
- 本製品には、FAX通信ソフトは添付しておりません。
- 本製品は、サスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードに対応しておりません。
  本製品を接続時にサスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードになってしまった場合、必ずスタンバイ復帰後に本製品をPCカードスロットから取り出し、もう1度差し込んでください。
- PBX(構内交換機)の回線を利用している(内線(0発信)などの)場合は、V.90およびK56flexの本来の性能がでません。設定回線速度より低い速度で接続します。また、PBXによってはNTT公衆回線網とはかなり違いが生じているものもあり、この場合はV.90およびK56flexがご利用できません。
- V.90およびK56flexでは、33,600bpsを超える通信速度は受信の場合のみで、送信の場合は最大33,600bpsになります。
- V.90およびK56flexで通信するためには、接続先のプロバイダなどが対応している必要があります。プロバイダなどがx2方式の場合は、最大33,600bpsの通信になります。
- V.90およびK56flex通信は電話回線の状況・品質に敏感です。モジュラーケーブルを設置するときは、次のことにご留意ください。
  ■パソコンのディスプレイやテレビ、スピーカーからなるべく遠ざける。
  ■ACアダプタの近くは避ける。
  ■なるべくケーブル長を短くする(数十メートル以上は使用しない)。
  ■1本の電話回線を分配機や切替機などでご股に分けない。
- ご使用されるモジュラーケーブルを長くして使用する場合(中継コネクタを使用して延長される場合)、接続される速度が低くなる場合があります。
- 本製品は日本国内でのみ使用可能です。海外では使用できません。
- 本カードに専用モジュラーケーブルを取り付け・取り外しを行う際は、無理な力を加えず、水平に取り付け・取り外しを行ってください。

箱の中には

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。
※箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。



- ☐ 本製品(1枚)

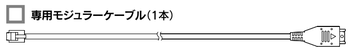
ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られている12桁のものです。
(例:ABC1234567ZX)

シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

- ☐ 専用モジュラーケーブル(1本)



- ☐ RJ-11 中継コネクタ(1個)



(電話回線中継用)

- ☐ サポートソフトCD-ROM(1枚)
- ☑ はじめにお読みください(本書 1枚)
- ☐ セットアップガイド(1枚)
- ☐ ハードウェア保証書(1枚)

本製品でできること

●PCカードの世界標準PC CARD規格TYPE II に準拠

●超高速 56000bps受信を実現

アナログ回線の限界を超えた、超高速56000bps受信ができるデータモデム機能搭載。インターネットをより快適に実現できるPCカードです。(送信は最大33600bps)

●ITU-T標準勧告のV.90プロトコルを採用

V.90方式は、ITU-Tにおいて標準勧告の56Kのデータ通信プロトコルです。(ご利用のプロバイダがV.90に対応してるかどうか、事前にご確認ください。)

●米国ロックウェル社提唱のK56flexプロトコルを採用

K56flex方式は、日本のインターネットサービスプロバイダの多くが対応している方式です。(ご利用のプロバイダがK56flexに対応しているかどうか、事前にご確認ください。)

●高性能データモデム機能

300～56000bpsの通信速度に対応。自動速度認識機能により、発信時/着信時は相手の速度に合わせて通信することができます。
また、端末速度は最大115200bpsで通信できます。

注意
- 56000bpsは、V.90およびK56flexの理論値であり、通信速度は回線状況により変化します。また、33600bpsを超える通信速度は受信の場合で送信の場合は、最高33600bpsとなります。
- 設定回線速度[特に50000bps以上]より低い速度で接続する場合があります。
- 56000bps通信には、本製品が採用しているV.90もしくはK56flex方式に対応している必要があります。プロバイダがx2方式の場合、最高33600bpsの通信となります。
- PBX等の構内交換機の回線に接続して使用した場合も設定回線速度より低い速度で接続する場合があります。

●ダウンローダブルタイプのモデムチップとフラッシュROMの採用

ファームウェアのバージョンアップにも簡単な手順で対応できます。

●エラー訂正／データ圧縮機能搭載

MNPクラス4とITU-T(旧CCITT)のV.42エラー訂正機能を搭載。回線状態が悪い場合でもエラーフリーの通信が行えます。
また、MNPクラス5とITU-T V.42bisのデータ圧縮機能搭載のため、MNPクラス5では最大200%、ITU-T V.42bisでは最大400%の実効通信速度が可能です。

●14400bps G3 FAXモデム機能搭載

2400～14400bpsの通信速度に対応し、EIA Class1に対応。

●通信を楽しくするソフトウェアを添付

■通信中の状況が一目でわかる「回線モニター」(Windows Me/98/95用)
通信速度はもちろん、今月累計時間など、細かい情報が一目で確認できるソフトウェアです。インターネットのお供に。
■Lotus NOTESのモデム設定ファイル
Lotus NOTESでモバイル通信を行うための設定ファイルを添付。指定フォルダにコピーし、簡単な設定を行うだけです。

●ATコマンド準拠

Hayes社のATコマンドを採用。市販の通信ソフトを利用できます。

注意 本書にはATコマンドの使い方については記述しておりません。ATコマンドに関しては、オンラインマニュアルを参照してください。

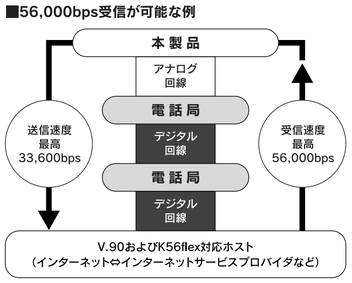
V.90およびK56flexについて

本製品は、ITU-T標準勧告のV.90及び米国ロックウェル社提唱のK56flexを採用しています。V.90及びK56flexでは、受信時最高56,000bps(理論値)、送信時最高33,600bps(理論値)の通信が可能です。
ただし、56,000bpsで受信するためには、以下の条件があります。

条件1 **ホスト(プロバイダなど)がV.90及びK56flexに対応している。**

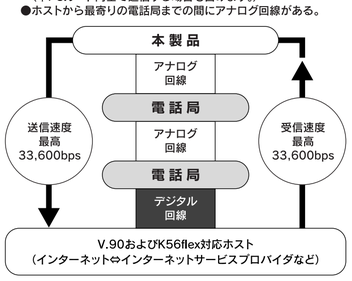
条件2 **使用している電話(通信)回線経路が、ホストから最寄りの電話局まですべてデジタル化されていて、デジタルからアナログへの変換が1度しか行われない。**

■56,000bps受信が可能な例



■56,000bps受信ができない例

以下の例では、56,000bps受信は行われません。
(送信および受信速度がともに最高33,600bpsとなります。)
●ホストがV.90及びK56flexに対応していない。
(本PCカード同士で通信する場合も含みます。)
●ホストから最寄りの電話局までの間にアナログ回線がある。



注意
- PBX(構内交換機)の回線を利用している(内線0発信など)場合は、V.90およびK56flexの本来の性能が出ないため、設定回線速度より低い速度で接続することがあります。PBXによっては、NTT公衆回線網とかなり違いが生じているために、利用できないものがありますので、設置業者などにお問い合わせください。
- ご使用される回線品質によっては、一般公衆回線でもV.90およびK56flexの性能がでない場合があります。また、中継コネクタ等を使用して延長される場合は、使用するモジュラーケーブルを短くしてご利用ください。

動作環境

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。
ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■Windows

対応機種	PC CARD規格Type II 以上のPCカードスロットを持つ機種 ●NEC PC98-NXシリーズ ●DOS/Vマシン[i486SX以上](弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。) ●下記の弊社製PCカードアダプタCardDockシリーズが使用できる機種※1 ■ CardDock2-EX/DV ■ CardDock2-IN/DV
対応OS(日本語版)	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98※2(Second Editionを含む)、Windows 95※2、Windows NT 4.0

※1 CardDock2-EX/DV、IN/DVはWindows XP/2000/NT 4.0でご利用いただくことはできません。
※2 32ビットPCMCIAドライバがインストールされていることが必要です。

■Macintosh

対応機種	PC CARD規格Type II 以上のPCカードスロットを持った以下の機種 ●Macintosh PowerBook G3/G4
対応OS	Mac OS 8.6～9.2.2

注意 本製品はPCカードタイプのモデムのため、受話器による音声の確認はできませんので、FAX送信時は、相手FAXは、[自動送受信]での設定でご利用ください。

本製品での呼び方

本製品では以下の呼び方を使用しています。

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows XP/2000	Windows XP および Windows 2000の総称
Windows Me/98/95	Windows Me および Windows 98の総称
Windows	Windows XP/2000、Windows Me/98/95の総称

基本的な使い方

本製品を使用する場合の基本的な使い方を説明します。

注意 本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープ機能には対応しておりません。

1 インストールする

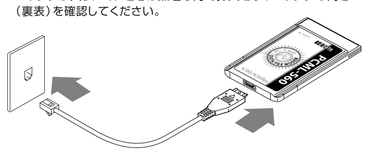
本製品を使うためにはまず、サポートソフトをインストールします。
添付の「セットアップガイド」を参照してインストールしてください。



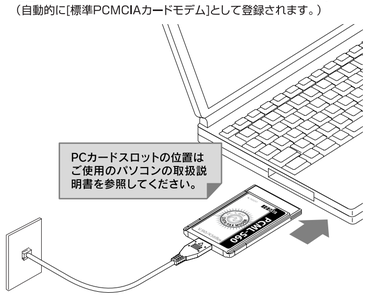
2 使う

取り付ける

添付の専用ケーブルで、電話回線(モジュラージャック)と本製品を接続します。
専用ケーブルを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。
コネクタが入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向き(裏表)を確認してください。



本製品をPCカードスロットに差し込みます。
ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥までしっかりと差し込みます。
(自動的に[標準PCMCIAカードモデム]として登録されます。)



取り外す

本製品を使用しなくなった場合などに、パソコンのPCカードスロットから取り出すには、以下の方法があります。

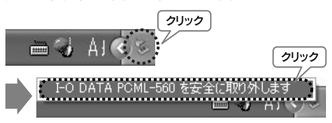
■パソコンの電源を切った後に取り出す

■パソコンを使用中に本製品の動作を終了して取り出す
Windows XPを使用中に取り出す際に、以下の本製品の動作を終了する手順を行わずに取り出すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
取り出す際には、本製品を使用していない(回線切断中である)事を確認した後、必ず以下の手順を行ってください。

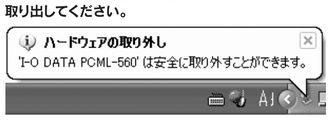
注意 以下の動作の終了作業を行うと、実際に本製品を抜かなくても、本製品は使えなくなります。
再度使いたいときは、いったん本製品をPCカードスロットから取り出してから再び差し込んでください。

Windows XPの場合

❶ ディスプレイ画面右下のタスクトレイにある[取り出し]アイコンをクリックし、[I-O DATA PCML-560を安全に取り外します]をクリックします。

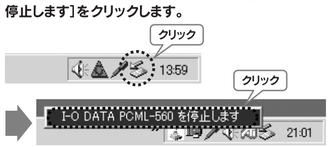


❷ 以下の画面を確認後、本製品をPCカードスロットから取り出してください。

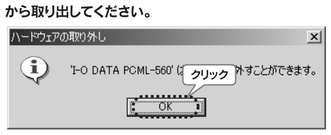


Windows 2000の場合

❶ ディスプレイ画面右下のタスクトレイにある[取り出し]アイコンをクリックし、[I-O DATA PCML-560を停止します]をクリックします。

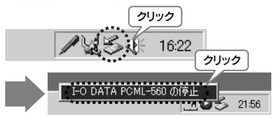


❷ [OK]ボタンをクリック後、本製品をPCカードスロットから取り出してください。

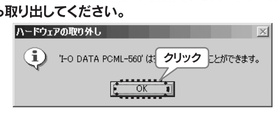


Windows Meの場合

❶ ディスプレイ画面右下のタスクトレイにあるPCカードのアイコンをクリックし、[I-O DATA PCML-560の停止]をクリックします。

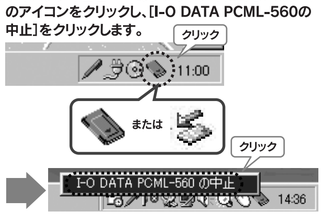


❷ [OK]ボタンをクリック後、本製品をPCカードスロットから取り出してください。



Windows 98/95の場合

❶ ディスプレイ画面右下のタスクトレイにあるPCカードのアイコンをクリックし、[I-O DATA PCML-560の中止]をクリックします。



❷ [OK]ボタンをクリック後、本製品をPCカードスロットから取り出してください。



Windows NT4.0、Mac OSの場合

パソコンの電源を切った後に取り出してください。

インターネットに接続するには

インターネットに接続するには、OS標準のダイヤルアップ接続を使って接続します。
詳細についてはオンラインマニュアルを参照してください。

参考
●オンラインマニュアルを見るには(Windows)
①添付の[サポートソフト CD-ROM]をCD-ROMドライブに入れます。
②自動的にメニューが表示されますので、[オンラインマニュアル]をクリックします。
●オンラインマニュアルを見るには(Macintosh)
①添付の[サポートソフト CD-ROM]をCD-ROMドライブに入れます。
②サポートソフト内の[Manual]フォルダ→[index.html]をダブルクリックします。

ハードウェア仕様

■NCU部

通信回線	1回線
適応回線	一般電話加入回線(PSTN)
NCU	AA
選択信号	PB/DP
制御コマンド	ATコマンド準拠
ダイヤル形式	パルス(10/20pps)、トーン
呼出方式	トーンリンガ

■データモデム部

通信方式		全二重
同期方式		調歩同期式(非同期)
通信速度	K56flex(受信のみ)	56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/40000/38000/36000/34000/32000bps
	V.90(受信のみ)	56000/54667/53333/52000/50667/49333/48000/46667/45333/42667/41333/40000/38667/37333/36000/34667/33333/32000/30667/29333/28000bps
	送 信	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps
通信規格		●K56flex ●ITU-T:V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21 ●Bell: 212/103
変調方式		●TCM:14400/12000/9600/7200 ●QAM:9600/4800/2400 ●DPSK:1200 ●FSK:300
動作モード		ORG/ANSモード
送出レベル		−12～−15dBm
エラー訂正機能		●MNP:Class4、Class10 ●ITU-T:V.42(LAPM)
データ圧縮伸張機能		●MNP:Class5 ●ITU-T:V.42bis
移動体通信機能		MNP10

■FAXモデム部

通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式(非同期)
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信規格	ITU-T:V.17/V.29/V.27ter/V.21 channel2
変調方式	TCM、QAM、DPSK、FSK
通信制御手順	G3/EIA class 1

■一般仕様

端末インターフェイス	PCカード規格準拠
端末通信速度	115200/57600/38400/19200/9600/4800/2400/1200/300 bps
供給電圧	+5.0V(±5%) または +3.3V(±0.3V)
消費電流	140mA(typ※)
使用可能な割り込み番号	IRQ 3、4、5、7、10、12、15
使用温度湿度範囲	●温度:0～55℃(パソコンの動作温度範囲であること) ●湿度:35～90%(ただし、結露なきこと)
寸 法	54.0(W)×85.6(D)×5.0(H)mm PC CARD規格TYPE II 準拠
質 量	約40g
認定番号	S98-2802-0
認定年月日	平成10年5月29日

※Typical・・・使用中の標準的な数値

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは
サポートセンターのみで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

オンラインマニュアル【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所:　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話:　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX:　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット:　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■以下の内容を書いたもの
●返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]
●日中にご連絡できるお電話番号
●ご使用環境(機器構成、OSなど)
●故障状況(どうなったか)

●修理品を梱包してください
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
■修理は以下の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。
送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】
〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ等really the自己の責に限り、自己だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を許しません。また、リースコードを解読するために、またソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が[ご注意]の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
● Apple、Macintosh、Power Macintosh、PowerBook、Macは、米国Apple Computer,incの登録商標です。
● iMac、iBookは、米国Apple Computer,incの商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ http://www.iodata.jp/support/
2004.4.12 発行